

鴨川における特定外来生物「オオバナミズキンバイ」駆除活動の実施について

令和 7 年 6 月 18 日
京都府自然環境保全課

鴨川において、生態系に重大な影響を与える特定外来生物「オオバナミズキンバイ」の拡大を防止するため、オオバナミズキンバイの駆除活動を実施しました。

➤ 実施結果概要

1. 日 時 5 月 24 日（土） 9 時 15 分～11 時 30 分
2. 活動範囲 鴨川 五条大橋 ～ 塩小路橋付近
3. 駆除重量 1,290kg（昨年 600kg）
4. 主催、共催、参加団体等
 - 主 催：京都府
 - 共 催：鴨川を美しくする会、（一社）鴨川流域ネットワーク
 - 参加団体：カモシネマ実行委員会、学校法人立命館、京都中央信用金庫、京都府産業資源循環協会、NPO 法人国際ボランティア学生協会 IVUSA、SKY オールボランいろどり（彩）、XO クラスター
 - 協 力：滋賀県、藤田医師、救援ボランティア左京、きょうと生物多様性センター
 - 後 援：環境省近畿地方環境事務所、京都市、（公財）琵琶湖・淀川水質保全機構、きょうと地域創生府民会議、京と地球の共生府民会議
5. 参加人数 138 名（うち駆除作業従事者 125 名、スタッフ 13 名）

○五条大橋～塩小路橋付近に生育する群落を駆除し、駆除重量は活動開始以降最大となった。

○降雨の影響が心配されたが、水位は低く、寄り州の群落は概ね駆除できた。

○白川放水路下流～桂川合流点では、今回の活動範囲外にも群落が確認されている。

○今後とも、専門家等の意見を踏まえて、継続して、オオバナミズキンバイの駆除活動に取り組んでいく。

➤ 駆除活動状況



第8回鴨川オオバナミズキンバイ駆除活動 実施要領

鴨川で拡大している外来植物「オオバナミズキンバイ」を駆除します。

オオバナミズキンバイは中南米原産の外来植物です。葉や茎の切れ端からでも再生するほどの驚異的な繁殖力を持っており、水面を覆い尽くし、他の生物の生息や漁業の障害となるなど、生態系や人の暮らしに大きな影響を与えています。関西地方では琵琶湖を中心に猛威を振るっており、鴨川でも侵入が確認されています。平成26年には「外来生物法」に基づく「特定外来生物」に指定され、駆除の対象とされています。



日 時：令和7年5月24日(土)9時15分～11時30分（受付：9時00分～）
※小雨決行、荒天等の場合は5月25日(日)に延期します。

荒天等により活動を中止する場合、5月23日(金)18時頃に団体代表者あてに連絡します。

集合場所： 鴨川右岸(西側) 七条大橋南(京阪七条駅から徒歩10分程度) ※詳細は裏面地図参照

活動区域： 鴨川 五条大橋～塩小路橋付近

活動内容： 外来植物「オオバナミズキンバイ」の駆除

人 数： 約130名

服 装： 汚れたり濡れたりしてもよい服装でお越しください。

持 ち 物： 雨具(小雨決行のため)、帽子、飲み物
【可能な方のみ】 胴長、長靴、ゴム手袋

保険など： 参加者全員、ボランティア保険に加入します。
(保険料は主催者で負担します。)



主 催： 京都府、

共 催： 鴨川を美しくする会、(一社)鴨川流域ネットワーク

後 援： 環境省近畿地方環境事務所、京都市、(公財)琵琶湖・淀川水質保全機構
きょうと地域創生府民会議、京と地球の共生府民会議

協 力： 滋賀県、救援ボランティア左京、きょうと生物多様性センター

参加団体： カモシネマ実行委員会、学校法人立命館、京都中央信用金庫、京都府産業資源循環協会、NPO法人国際ボランティア学生協会 IVUSA、SKY オールボランいろいろ(彩)、XOクラスター

■活動にあたっての注意事項

- ①. 当日、発熱や体調不良などがある場合は、活動への参加をお控えください。
- ②. 各自で適宜休憩いただき、こまめに水分補給をしてください。

■当日の流れ

1. 受付

2. 開会(主催者挨拶、作業の説明など)

3. 道具の受け取り

・駆除に使用する道具(軍手、スコップなど)を受け取ってください。

4. 駆除活動

・最後に駆除した植物体を収集し、河川敷に運搬します。

5. 閉会(主催者挨拶など)

■当日の集合について

時間 9時00分～9時15分(受付)

場所 鴨川右岸(西側) 七条大橋南
(京阪七条駅から徒歩10分程度)

※本部テントまでお越しください。

※公共交通機関でお越しください。



(現地地図)

(参考) 昨年度(6月30日)の活動の様子



水面に伸びたオオバナ
ミズキンバイを回収

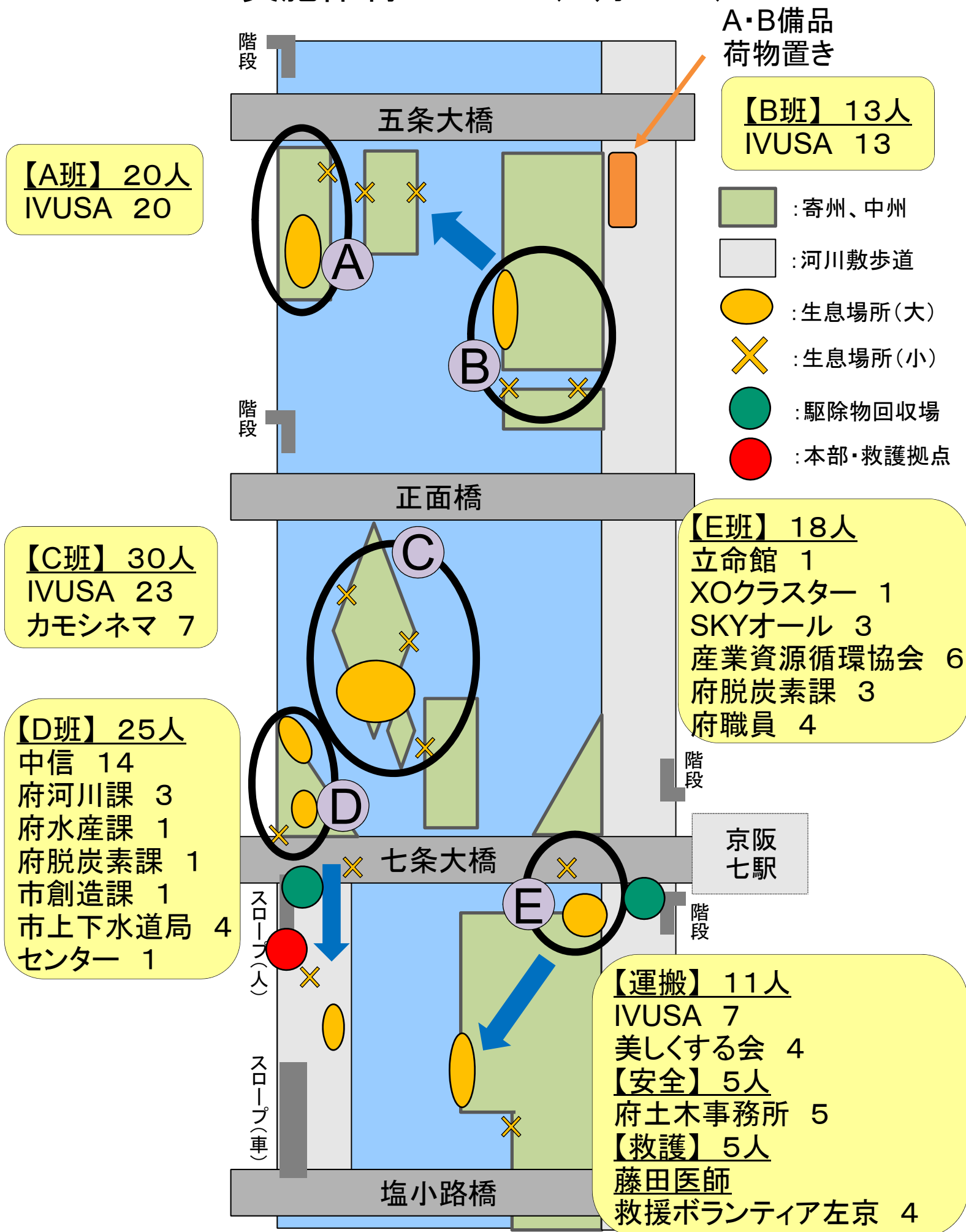


陸上に生えているオオ
バナミズキンバイを根
から掘り起こして回収



回収したオオバナミズ
キンバイは、まとめた後
に処分

実施体制について(5月24日)



もしクビアカツヤカミキリの被害が拡大したら...

△ お寺や神社の **サクラやウメが枯れてしまう!**△ 桜の名所が **なくなる!**△ ウメやモモなどの **果樹が作れなくなる!** かも...

< 樹木内の幼虫 >

被害を防ぐためには **早期発見が重要!**

クビアカツヤカミキリの幼虫は

およそ **2年間** も木の中にいる4月～10月頃
確認がしやすい!

探す手がかりは

フラス

(幼虫のフンと木クズが混ざったもの)

フラスの特徴



よく見られるフラスの様子

2~5mm ほどの太さで、
ひき肉のように
連なって出てくる

フラスの拡大写真

拡大すると、木くずはスプーンで
くりぬいたような形をしている

< クビアカツヤカミキリの一生 >

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

1年目	卵	幼虫
2年目	幼虫	蛹室をつくる → 幼虫 (蛹室内)
3年目	幼虫 (蛹室内)	蛹 → 成虫 (脱出)

初夏～盛夏に卵を
木に産みつける

被害の進んだサクラ

被害が激しくなると、
木の地際に大量の
フラスがたまってくる

もしも発見したら...

成虫の捕殺や被害木に防風ネットを巻き付ける
などの防除のご協力をお願いします。

参考文献：国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所「クビアカツヤカミキリの防除法」

- ☐ 首の赤いカミキリムシを見つけた
- ☐ サクラやウメ、モモから木クズが大量に出ている

すぐにお住まいの市町村か
京都府までご連絡ください!詳細は
こちら<https://www.pref.kyoto.jp/gairai/kubiakatsuyakamikiri.html>

市町村名	担当課	電話番号	市町村名	担当課	電話番号	市町村名	担当課	電話番号
京都市	環境政策局環境企画部 環境保全創造課	075-222-3951	長岡京市	環境経済部環境政策室	075-955-9685	笠置町	税住民課	0743-95-2302
福知山市	産業政策部エネルギー・ 環境戦略課	0773-48-9554	八幡市	市民生活部環境業務課	075-983-2798	和束町	農村振興課	0774-78-3008
舞鶴市	市民環境部生活環境課	0773-66-1064	京田辺市	経済環境部環境課	0774-64-1366	精華町	健康福祉環境部 環境推進課	0774-95-1925
綾部市	市民環境部環境保全課	0773-42-1489	京丹後市	市民環境部生活環境課	0772-69-0240	南山城村	産業観光課	0743-93-0105
宇治市	人権環境部環境企画課	0774-20-8726	南丹市	市民部環境課	0771-68-0085	京丹波町	健康福祉部住民課	0771-82-3803
宮津市	市民環境部市民環境課	0772-45-1617	木津川市	市民環境部環境課	0774-75-1215	伊根町	住民生活課	0772-32-0503
亀岡市	環境先進都市推進部 環境政策課	0771-25-5023	大山崎町	経済環境課	075-956-2101	与謝野町	農林環境課	0772-43-9023
城陽市	市民環境部環境課 (農地以外)	0774-56-4061	久御山町	事業環境部産業・ 環境政策課	075-631-9964 0774-45-3914	京都府	総合政策環境部 自然環境保全課	075-414-4706
向日市	まちづくり活性价農政課 (農地)	0774-56-4005	井手町	産業環境課	0774-82-6168			
	環境産業部衛生環境課	075-874-2189	宇治田原町	建設環境課	0774-88-6639			

WEBでの
ご連絡はこちら

特定外来生物

サクラやウメ、モモを
食い荒らし枯らす!

クビアカツヤカミキリ

警戒中!!

5月末～8月頃
成虫発生!木クズを見つけたら
要注意!!

フラス

(幼虫のフン・木クズ)

つかまると
臭い液を出す胸部
(首の部分)
が赤い!光沢のある
黒いボディ実寸大
(体長 2.5~4cm)

木の内部を食い荒らし

枯らす!

主にサクラやウメ、モモ
などのバラ科の樹木に付き、幼虫が木を
内部から食い荒らします。木からは大量の
フラス (幼虫のフンと木クズが混ざったもの)
が排出され、侵入された木は弱り、枯れて
しまいます。

成虫を見つけたら、

踏み潰すなどして駆除を!

クビアカツヤカミキリの侵入地域 (2025.2)

もともと日本にいなかった外来のカミキリムシですが、2011年に
埼玉県で確認されて以来、急速に分布を拡大しています。

京都府では2024年7月に初めて確認されました

◎令和6年度確認地域 ≫ 京都市、福知山市、向日市
(大阪、兵庫、奈良など近隣地域でも被害拡大中!)国土交通省 国土数値情報 (行政区画データ) (<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N03-2024.html>) をもとに
きょうと生物多様性センター作成防除のご協力をお願いします。
みなさまの力で京都のサクラ等を守りましょう!

防除対策

状況に応じて、組み合わせて対策することが大切です！

(1) ネット巻き・捕殺

○羽化した成虫の飛散防止や新たな産卵の防止のため、成虫発生時期(5～8月)には被害木にネットを巻き付けます。

○ネットは、目合い4mm以下の強度のある防風ネット等を使用します。

○ネット巻きの方法

①約2mの高さで、主枝にガンタッカー等で固定し、ひもやテープでしっかりと縛る。

②ネットの噛み切りや、産卵を防止するために、ネットと樹幹が密着しないよう、やや隙間を持たせて巻く。

③ひこばえや雑草を抑制するために、防草シートを敷き、ペグ等で防草シートとネットを地面にしっかり固定する。

・ネットを巻いた後も定期的(2～3日)に見回り、成虫を見つけた場合は捕殺する。



○捕殺の方法

①フラスが出ている穴(排ふん孔)周辺の樹皮を剥ぎ、針金やドライバー等で幼虫を刺殺または掘り取り、捕殺します。

②幼虫を捕殺した後も、新たなフラスの排出がないか、定期的に見回ります。

(2) 薬剤処理(処理後は看板や張り紙等で周知してください)

※農薬は必ず、最新の登録情報を確認の上、使用基準を遵守して使用してください。

【確認方法】

⇒ 農薬登録情報提供システム(<https://pesticide.maff.go.jp/>)で検索！

ア 農薬を散布する(薬剤散布)

○成虫を対象として、農薬を散布する方法です。

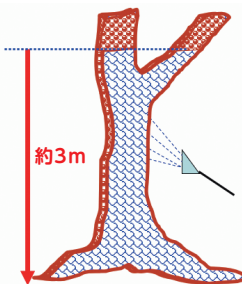
・根元から約3mの高さまで、樹幹や枝にかかるように丁寧に薬剤を散布する。
ただし、3m以上の高さにフラスがある場合は、その高さまで散布すること。

・5月から8月までの期間に、10～14日間隔で2回以上散布する。

・薬剤によっては予防効果も期待できる。



アセタミプリド メタフルミン
ネオニコチノイド系



イ 排ふん孔に薬剤を注入する(エアゾール剤処理)

○排ふん孔から、樹木内にいる幼虫へ直接薬剤を吹きかけて殺虫する方法です。

・竹ひごや千枚通しで排ふん孔に詰まったフラスを取り除く。

・排ふん孔にノズルを差し込み、薬剤があふれるまで注入する。

・地面も含め、周辺のフラスを取り除き、1週間後に新たなフラス排出の有無を確認する。

・新たなフラスの排出がある場合は、再度処理を行う。



(左) エアゾール薬剤
(右上) 排ふん孔周辺のフラスを除去
(右下) 排ふん孔から薬剤を注入

ウ 樹幹に孔を空けて薬剤を注入する(樹幹注入)

○樹幹に薬剤を打ち込み、樹木全体に薬剤を行き渡らせて、樹木内にいる幼虫を殺虫する方法です。

・地際付近の樹幹にドリルで孔(注入孔)を空ける。この時、枯死部は避け、必ず生きている部分に孔を空けること。

また、根の部分に幼虫がいる場合があるため、根にも孔を空ける。

・注入孔に薬液ボトルまたは注入補助器をしっかり挿し、薬液を注入する。

・薬液が樹木内に吸収されたことを確認し、薬液ボトルまたは注入補助器を外した後、専用のパテで注入孔を埋める。



① 株元の周囲を測定
② 10～15cm 間隔で薬剤を配置
③ 直径6mm 程度の穴を50度の角度で6～7cmの深さにドリルで開ける
④ 薬剤を差込む。30分～2時間で終了

(3) 被害木の伐採・処分

○被害木の伐採は、確実に幼虫を駆除できるため、被害拡散防止として最も有効な対策です。

○伐採は、成虫の脱出の恐れのない10月～4月下旬に実施します。

○伐採した被害木は、枯れても成虫が脱出するため、放置せず、4月下旬までに焼却または粉碎処分してください。

○焼却、搬出先は、市町村の担当課と相談して決定してください。

○速やかな処分が難しい場合や、やむを得ず5月～9月に実施する場合は、ネットやシート等で隙間の無いよう多重巻きで密閉し、保管、搬出してください。

○幼虫は根部にも食入することがあるため、伐採後の切り株も掘り上げ(抜根)し、処分してください。

抜根が難しい場合は、根を防草シート等で完全に覆ってください。覆う前に切り株に覆土するとより効果があります。